



おおぞら

ぎがい

大空町議会だより 第17号
2010(平成22)年8月31日発行

8

2010



●6月27日、女満別幼稚園の運動会。大変暑い日でしたが、園児の皆さん元気いっぱい競技に取り組んでいました。

町長施政方針(予算執行方針)	P2
定例会の議案と質疑	P3~5
町政を問う(一般質問3名)	P6~10
暑中お見舞い	P10
その他議会活動	P11
議員研修会	P12

議会・委員会活動レポート	P13
議会運営委員会視察調査報告	P13
編集後記	P14
要望意見書	P15
議会日誌	P16
有料広告(中華レストラン「吉」)	P16

町長施政方針

●定例会の初日(6月15日)、町長はまちづくりの基本的指針である「町政執行方針」の報告を行いました。以下、要旨(抜粋)を紹介いたします。
※詳細等は、「広報あおぞら7月号」に掲載されていますので御覧ください。

施政・予算執行方針

本年4月に執行された大空町長選挙において、町民の皆様との共通目標を掲げ、町民の皆様が主役の「わたしたちのまちづくり」を訴えてきた結果、無投票当選と言う身の引き締まる御審判をいたしました。再び皆様とともにまちづくりに携わる機会を賜り、心から感謝申し上げるとともに、責任の重さをしつかりと受け止め、粉骨碎身の気概をもつて取り組んでまいりたい。

世界は、一昨年のリーマンショックに端を発した同時に、不況により、経済の低迷期を迎えた。諸外国の経済対策により持ち直しの傾向が見られたが、ギリシャの国家経済危機などから、再び世界的な金融不安が広がりつつある。日本では、数度の経済対策により、都市部では回復傾向も伝えられているが、地方においては未だ回復が実感できる状況はない。地方財政も予断を許さない状況が続いている。新政権が掲げる政策は期待が多い半面、先行き不透明な側面もある。また、従前から続く少子高齢化、地域医療、社会保障、教育や環境などの将来不安もある。愛情がまちづくりの原点であると訴えてきた。愛情と言つ心が織りなされ、町が形づくられていいく。町を愛し、人を愛する気持ちをもつて町政の執行にあたっていくことが、不安を解消していく最善の方策だと信じている。皆様の御理解と御協力をお願い申し上げる。



山下 英二 町長

まちづくりの 基本的な考え方

●地域主権を実現するため、情報共有できる社会づくりを目指す。

●社会の宝である子どもたちが生まれ育つていく環境が変化する中で、今必要なものは何かを考え、時代に即応した環境を整備し、将来の夢の実現を応援する。

●地域産業の中心となる農林水産業の振興に取り組む。

●商工業や観光に必要な地域循環の仕組みや交流人口の増加のため、産業界と連携した取組を進める。



議会議員として長年在職し、地方自治の振興発展に寄与・貢献された功績により、田中勝吉議員(副議長)が、北海道町村議会議長会から表彰を受け、第2回定期例会(6月15日)の開会前に表彰状が伝達されました。

表
彰

6月定例会の議案と質疑

- 平成22年4月11日に執行された大空町長並びに町議会議員選挙後、初めてとなる定例町議会が、6月15日から16日の2日間の会期で開かれ、以下の町提出案件・議員提出案件などが決まりました。

工事名	女満別中学校耐震補強工事
業者名	河西・吝藤・藤井経常建設共同企業体 代表者 株式会社河西組 代表取締役 河西 悟 (女満別西3条1丁目)
契約金額	230,370,000円

小島議員 アズベストの問題が出てきたようであるが、その対策費用の有無について伺う。

小島議員　過去のバスペ
ストの議論の中で、問題調査を真剣に行うことと
されたが、工事の中で
発見されてきた経過も
ある。今後、このよつ



本町議会議員定数が18人から12人に減少したことにより、本町議会から同組合議会議員選出人の数を5人から4人とし、同組合の議会議員定数を12人から11人とすることに伴う同規約の一部変更を了承しました。

【平成21年度網走支庁管内
町村交通災害共済組合一般会計歳入歳出決算認定】
網走支庁管内町村住民の交通災害に対する共済制度事務を共同処理し、住民福祉の増進を図ることを目的として、昭和44年に管内23町村で構成、設立された同組合が平成22年3月31日をもつて解散し、その決算審査については事務を承継した各

組織機構見直しのため

「大空町課設置条例」を制定

自治体によって行われることから、監査委員の審査に付された平成21年度同組合歳入歳出決算について認定しました。

条例等案件

【大空町課設置条例の制定】

の使用が4月末に判明している。現在、使用

なことはないのか改めて伺う。

【一部変更】
[北海道市
町村総合事務組合規約の
一部を変更する規約]（北海道

厳しい財政状況の中、限られた職員数で様々な施設異題に対立ち向かう。

の使用が4月末に判断している。現在、使用禁止とされている断熱材はないが、吹き付けアスベストと同方法による処理が必要となり経費として算入されてる。

なことはないのか改めて伺う。

の一部変更】〔北海道市町村総合事務組合規約の一部変更〕及び〔北海道市町村備荒資金組合規約の一部変更〕

厳しい財政状況の中
限られた職員数で様々な
施策課題に対応し、効率
的、効果的な業務運営を
目指すため組織機構を見
直すことによる同条例の
制定を可決しました。

業種を追加、削除するごとに伴う同条例の一部改正を可決しました。

条例の一部改正【

改正による国民健康保険税の限度額引き上げと、平成22年度の賦課資料に基づき試算を行った結果、一部限度額を引き上げ、低所得者の負担軽減に配慮した税率改正を行うことによる同条例の一部改正を可決しました。

【北海道東藻琴高等学校 授業料等徴収条例の一部 改正】

平成22年4月より施行
されている公立高等学校
の授業料無償化に対応し、
東藻琴高等学校の授業料
を徴収しないこととする
ため、同条例の一部改正
を可決しました。



(ふるさと資料館)

予算案件

文化財保護条例第18条の規定に基づく「文化財保護審議会」が設置されることに伴う同条例の一部改正を可決しました。

ソとなる、全28条に及び
同条例の制定を可決しま
した。

国民健康保険基盤安定負担金	△176万円
中山間地域等直接支払事業補助金	1,423万円
経営体育成交付金	1,163万円
学校教育施設建設基金繰入金	2,776万円
道道福住女満別線支障物件補償費	960万円
女満別小学校整備事業債	970万円
歳出の主なものとして	
役場庁舎改修工事	396万円
財政調整基金積立金	△1億482万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	△233万円
福祉タクシー券交付事業	273万円
女満別中央病院医療環境等充実事業補助金	4,086万円
簡易水道事業特別会計繰出金	548万円
中山間地域等直接支払交付金	1,898万円
経営体育成事業補助金	1,164万円
緊急農地排水対策事業負担金	1,750万円

畑地かんがい用水管路 移設工事	1,350万円
森林整備地域活動支援 交付金	500万円
東藻琴地区道の駅整備 基本計画策定委託料	494万円
藻琴山温泉芝桜公園整 備調査設計委託料	122万円
下水道事業特別会計繰 り戻し	745万円
網走地区消防組合大空 消防署施設費負担金	260万円
女満別小学校備品購入 費	1,665万円
ゲートボールセンター 体育振興備品	254万円
女満別学校給食センタ ー管理運営費	2,082万円

質疑

63年から実施していたもので、合併後は女満別地区のみが対象であった。受益者の36%が未利用という中で、タクシー券は個人へ交付されるものだが、同一世帯である場合、例えば御夫婦間での利用を認めると、事業内容の拡充を行い、より利用していただこうと考

品田議員 合併後4年経過した今、事業対象を全地域に拡大することとした経過を伺う。また、東灘琴地区も事業対象にすることで利用率は高まる予測しており、事業の必要性はあるかと思うが、長年取り組んできた中で利用率が上がらないということは、本事業に対して若干の考慮が必要

一
二
三
四
五

〔文化財保護条例について〕

- 大空町にとって重要な文化財を保存、活用するため必要な措置をとり、町民の郷土に対する愛着を深め、文化の向上を図ることを目的とするものです。
 - 文化財とは、大空町内にある歴史、芸術、学術、観賞上価値の高い、大空町（教育委員会）で指定する次のようなものをいいます。

- ア. 有形文化財**～建造物、絵画、工芸品、書籍など
 - イ. 無形文化財**～演劇、音楽、工芸技術など
 - ウ. 民族文化財**～衣食住、生業、風俗習慣、民俗芸能など
 - エ. 記念物**～戦跡、庭園、山岳、動植物など

町政を問う(一般質問3名)

●平成22年6月の第2回町議会定例会では、3名の議員から6項目の質問がありました。各議員と理事者の答弁要旨をお知らせします。※紙面の都合上、質疑は要約していますので、詳細等は両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

議員 生ごみの処理に関する質問

台所の声を活かした対策を

生ごみの処理に用の袋が破れやすいとの苦情の電話が私の自宅に寄せられたので、私としても早速実験してみた。結果としては、使い方によるもので、ごみ袋は丈夫になっているとの印象であった。

ごみを出す側の町民に対する生ごみ用袋の取扱い方法に関する情報提供、ごみの分別やごみを出す際のマナーの向上、ごみの分別処理に対する町民の関心を高めていくことが課題であると考える。

町長 20年度から町の広報やふれあいトーク、町政懇談会を通じて各自に説明し、平成21年6月から試行期間を設け、町民の方からの意見をいただきながら、本年4月から本格実施している。試行期間中に3リットルの小さなごみ袋の要望、生ごみ以外のごみ混入に対する警告シールの貼り方の工夫等町民の意見を伺いながら本格実施へ移行している。

ごみの減量化についての関心を高める。札式に変更した。ごみの減量化についての関心を高める観点から生ごみ処理機導入への補助も復活させた経過もある。

今後も町民の意見を伺うと共に、ごみの分別についての関心を高めようとしている。

本年4月から生ごみを分別収集し、堆肥化する事業が本格実施となつたが、この生ごみ分別に関して、とりわけ主婦の声をどのように取り上げられてきたのかを伺う。

議員 女満別町は、花と音楽の町、東藻琴村は、「ノンキーランド」というキヤツチフレーズをそれぞれの地区の住民は、誇りに思っていたものとの意見が聞かれる。合併後表だつて使われなくなつた理由を町民にどんな形で周知したのかについて伺いたい。

議員 女満別町は、花と音楽の町、東藻琴村は、「ノンキーランド」の愛称については、昭和54年から村の観光宣伝の地域のイメージ愛称として使われてあり、平成13年に特許庁の、图形商標登録をしており、東藻琴地区での観光行事で使われて、東藻琴地区的観光イベントから特産品の宣伝等様々な活動に結びついている。

大空町全体での対応で使用する場合は、大空町の新しいシンボルマークを使うこととしているので、存在が薄れたようを感じる町民の方もいると思われるが、地域の個性を大切にする姿勢は変わらない。



生活環境行政～生ごみについて～

中堀君子議員



花と音楽の町、ノンキーランドについて

愛着あるキヤツチフレーズは地域の誇り

合併後の取り扱いとして新町において旧町村の宣言等を参考に定めることとしている。合併後、町の木、町の花、町技ス

ている。地域審議会においても、精神的な宣言を取り組んではどうかとの意見も出ている。精神的な宣言については、町民の融合を引き出し、融和を創造することにつなが

友好姉妹都市について

友好姉妹都市との交流の状況を町民により分かりやすく

教育交流から総合的な交流に発展。更なる交流促進を

議員 大空町は、東京都稲城市と熊本県氷川町と姉妹都市、友好交流を持つている。友好交流の証として、役場庁舎内に友好都市、町の特産品や各市町の特色を紹介するパンフレットの展示や、交流の状況を紹介した写真を展示し、町民に周知してはどうか。

子供たちからお年寄りの方まで、気軽に役場庁舎に来て情報を得られる雰囲気づくりにもつながるのではないか。姉妹都市、友好町としての交流の証づくりに関しての考え方を伺う。



展してきた。

交流の経過、研修報告集等の資料展示、友好市町の特産品の展示をすることにより、より町民の皆さんに稻城市、氷川町を身近に感じてもらえる。府舎内の限られたスペースであるが、どのように展示、PRしていくのか検討する。

来年度は、稻城市と姉妹都市締結20周年、平成24年は、氷川町との友好

町締結10周年となる。更に友好が深められるよう、両市町関係者と相談しながら記念となる行事等の開催についても相談、検討していく。

議員 和63年から女満別小学校を中心とした教育交流が始まり、平成3年11月に旧女満別町との友好姉妹都市交流に発展している。熊本県氷川町とは、平成5年に旧宮原町と旧東藻琴村との教育的な交流が始ままり、平成14年に友好町の調印をして、中学生を中心とした相互研修交流から、町民の研修交流に発展している。

大空町として友好交流の継続を図ることとし、平成18年7月に姉妹都市締結、友好町締結を再調印して交流は今日まで発

財政運営と財政分析について



品田好博議員

ヨンの見直しを行っており、当該計画では地方交付税交付金について、約2ないし3パーセントの減額基調とふまえている。今後、交付税交付金が想定以上に減額となると、経常経費の節減、総合計画を見直す中での事業年度先送りもあり得るが、

議員 財政の危機管理上の観点から、地方交付税の動向に注意を払わなければならぬ。想定している交付金水準が下がった場合の財政シミュレーションへの影響と、想定内の減額幅はどの程度か伺う。

議員 町民の皆さんには状況を説明しながら、事業運営をしていかなければならぬと想定している。

議員 弾力性のある財政運営を中心とした相互研修交流から、町民の研修交流に発展している。

議員 考えると、今後、地方交付税交付金の減額に影響があると想定している。平成20年3月に策定した大空町財政健全化計画の中で財政シミュレーション

ればそれが継続するのでなく、単年度の事業状況の変化によって変わつていくものである。今後、総合計画の実施計画に合わせた財政計画の見直しが、現状を公表し、説明していくべきだ。

議員 健全化判断比率指標と財政指標の開示のあり方は、町づくりの将来展望上、財政分析は欠かせない。判断基準としての財政指標について、従来公表されていた経常収支比率、公債費比率、起債制限比率、財政力指数の併記等、住民に分かりやすい開示方法についての考えを伺う。

議員 弾力のある財政運営を心掛ける必要があり、基金力、経常収支比率を理想像に近づけることが危機管理上大事である。

議員 財政というのは、成立した地方公共団体の財政健全化に関する法律

財政運営と分析をしつかり行い説明

町長 国の財政状況を考えると、今後、地方交

付税交付金の減額に影響があると想定している。

町長 財政というのは、

年度課題などと照らして分かりやすく

見直し状況を公表

町長 平成19年6月に

財政健全化に関する法律

において、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」の4指標で財政状況を公表することとなつて、今後の定、財政健全基準の設定を念頭に、条例策定に向けて一歩進めてはどうか。

町長 健全な財政に關係する条例については、十分承知していない状況である。内容、形態、実例など今後、調査検討していきたい。

町政執行方針について

家庭用生ごみ処理機導入補助事業復活はなぜ

ントを当てて説明を加えたいといふことから、公表表現の仕方が変わつてしまふことがある。特別会計や第三セクターの経営状況も含めて、自治体の財政状況を総合的、多角的にチェックでき、町民の皆さんにも分かりやすい指標である。この4指標を基準に公表していく。また、過去の経過から判断することもあるので、議会等に対しても、従前の指標を今後も報告していく。

健全な財政に関する条例 制定を

町長 ごみ処理対策の
究極の目標はごみの減量
化であり、町民の協力が
不可欠で、町民の機運の
盛り上がりが大切である
と認識している。

――
町民の意見を施策展開
に活かし、機運の盛り
上がりを

をどう減量するかが最も大切な事である。

この補助金交付は、5年間といつ期間を設定している。このような施策を組み合わせて、ごみ排出減量活動の機運の高まりや、減量化意識の浸透を図っていきたい。

のではなく、演説等も含めた活用事例の紹介など、資源の有効活用に向けて町民の皆さんと共に考えてながら進めていきたい。

していない状況である。
高齢者の方々の移動手段の確保は、社会的な課題であると承知している
スワールバスの利用拡大 東藻琴地区の患者輸送バスの活用、福祉タクシー
券の交付対象の拡大等高齢者の方の移動手段の確

民間の福祉団体等がどのような活動をしたいのか。その活動をする場合にどのような支援を要望しているかを把握しながら、民間主導での活動に對して、その活動目的実現に向けた効果的な支援に努めていきたい。

生ごみの分別、堆肥化についての住民説明会を開催いたしました。

議員 ごみの資源化

のうが木言方がさ木が
のか伺う。

歯者召集の懇親会の整備をして、生きがいの持てる生活が出来るよう

A black and white photograph showing a piece of raw fish (likely salmon) being prepared or served on a plate.

る交通費助成など福祉有償輸送の対象者拡大については、大変結構なことと理解している。

保について、対象や地域の実情等に合わせた施策に取り組んでいく。引き続きより良い制度となるよう取り組んでいきたい。

広域連携での観光振興
を働きかける

町長 メルヘン観光交流センターに、めまんべつ観光協会が案内所を開設する。

域の特産品の宣伝をしつかり取り組んでいただけるよう、町としても連絡調整して行く。

北網オホーツク圏の各市町村との連携を密にしながら、広域での観光振興について情報を発信するとともに、観光振興に取り組む各関係機関を通じて働きかけを強めていきたい。

A photograph showing a progression of five containers of Kikkoman soy sauce. From left to right, the containers are: a small cylindrical can, a medium cylindrical can, a large cylindrical can, a medium plastic bottle, and a large plastic bottle. Each container has a white label with the Kikkoman logo and the word "SOY SAUCE". The liquid inside the bottles is a dark brown color.

議員 昨年からスター

スポーツ振興について

トした総合型スポーツクラブの活動の現状と今後の見通しについてはどうなっているのか伺う。

地域の意向に基づく設立拡大を支援

田長 体育指導委員を通じて豊里住吉地区で設立検討され、本年3月に豊住スポーツクラブとして設立された。会員は約500名で、小中学生から成人までの方を対象にミニバレー、ボール、卓球、軽スポーツ、ゴルフ、シェイプアップ体操教室を開催予定している。救命救急講習会や講演会、公認クラブマネージャー資格取得講習会への参加を予定している。

今後は、他の地域でも地域の意向に基づき設立を支援して行きたい。

スポーツ指導者の確保、育成対策の展望は

議員 スポーツ指導者の確保、育成対策は、時代によってメインとなるスポーツが変わるなどするが、スポーツ少年団の指導者についての現状は

地域の意向に基づく設立拡大を支援

町長 体育指導委員を通じて豊里住吉地区で設立検討され、本年3月に豊住スポーツクラブとして設立された。会員は約500名で、小中学生から成人までの方を対象にミニバレー、ボール、卓球、軽スポーツ、ゴルフ、シエープアップ体操教室を開催予定している。救命救急講習会や講演会、公認クラブマネージャー資格取得講習会への参加を予定している。

「体育団体スポーツ指導者の協力体制づくりを推進」の確保は、課題である。スポーツ少年団員の保護者ばかりではなく、体育協会加盟団体のスポーツ指導者の協力体制づくりを進める必要がある。

少年スポーツ団体の指導者の確保の展望は
議員 指導者を町外から確保している状況があり、資金面で父兄に負担がかかるつていると聞くので、支援対策の検討について伺う。

暑中お見舞い

申し上げます

暑中お見舞い申し上げます

議会中継のお知らせ

- 「東藻琴総合支所ロビー」及び「老人福祉センターフロックスロビー」のテレビを通じて、議会本会議の様子を御覧になることができますので、議会中継をぜひ御覧ください。



その他議会活動の状況等

【平成22年網走分会消防団消防演習・東藻琴消防団消防演習】

5月30日、女満別ゲートボールセンター駐車場において、北海道消防協会網走分会消防団の消防演習が、6月26日、緑とチーズの里ふれあいパークイベント広場において、東藻琴消防団の消防演習がそれぞれ行われ、小隊訓練、模擬火災訓練などの様子を見学しました。



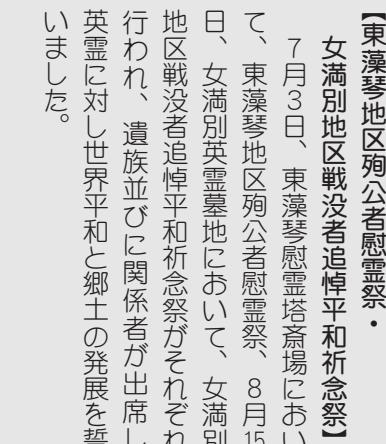
【藻琴山夏山開き安全祈願祭】

6月13日、藻琴山夏山開き安全祈願祭が行われ、夏の観光・登山シーズンを迎えて、登山者の安全を願いました。



【観光夏まつり開会式】

7月31日、第38回を迎えた観光夏まつりの開会式が女満別湖畔にて行われ、夜の水上花火大会には、町内外から大勢の方が足を運びました。翌8月1日には、「ドラゴンボート」大会が行われ、手に汗にぎわひテッドーラートが繰り広げられました。



【東藻琴地区殉公者慰靈祭・女満別地区戦没者追悼平和祈念祭】

7月3日、東藻琴地区殉公者慰靈塔斎場において、東藻琴地区殉公者慰靈祭、8月15日、女満別英靈墓地において、女満別地区戦没者追悼平和祈念祭がそれぞれ行われ、遺族並びに関係者が出席し、英靈に対し世界平和と郷土の発展を誓いました。



【第38回交通安全・第60回社会を明るくする運動大会】

7月2日、メルヘン公園多目的屋内広場において、交通安全・社会を明るくする運動大会が開催され、町内の各学校・団体等から多くの方々が参加し、交通事故撲滅と犯罪のない住み良いまちづくりを誓いました。

【大空町メルヘン観光交流センターオープニングセレモニー】
6月30日、大空町の観光の拠点となる「大空町メルヘン観光交流センター」（愛称：メルヘンぴっぷ）がオープンし、多くの方々でにぎわいました。



【議会行政視察来町対応】

7月6日、鷹栖町議会議会報編集特別委員会（加藤敏昭委員長他6名）が、本町議会広報編集の取組について、8月3日、清水町議会産業厚生常任委員会（奥秋康子委員長他6名）が本町の高齢者福祉施策についての視察調査のため来町されました。

8月18日、姉妹都市である稻城市から、市議会会派「公明党（門島すえこ代表他2名）」が、本町の児童福祉対策についての視察調査のため来町されました。

皆様それぞれ熱心に御質問され、活発な意見交換がなされました。

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非ご覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス

大空町議会ホームページ



平成22年4月27日撮影

議会活動の状況

議会には、定期的に開かれる「定例会」と必要に応じて開かれる「臨時会」があり、決められた一定の活動期間中（会期）に本会議や委員会を開いて議案等の審議を行います。大空町議会の定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開くこととなっています。

議会活動は、原則として会期中に行うとされていますが、会期外でも必要に応じて委員会等を開き様々な活動等を行っています。

●議会の開催回数と日数・付議事件(平成21年7月1日～22年6月30日)

区分	開催回数	会期日数	付議事件									
			町長提出					議会提出				
			条例	予算	決算	専決処分	その他	計	条例	意見書	その他	
定例会	4	12	30	38	10	1	38	117	2	12	9	33
臨時会	5	5	7	10	—	3	11	31	1	—	5	16
計	9	17	37	48	10	4	49	148	3	12	4	49

●議会活動日数(重複等を除く)(平成21年7月1日～22年6月30日)

区分	本会議	委員会		意見書対応	議員閉会中の協議会	調査・視察	研修会	陳情・要望	の公会合出席等	その他	計
		会期中	閉会中								
議長	15	5	33	1	10	2	2	36	47	151	
副議長	15	10	14	—	9	1	—	7	32	88	
議員平均	14	4	8	—	7	1	—	1	10	45	

議員研修会

7月1日、札幌市において、平成22年度北海道町村議会議員研修会（主催：北海道町村議會議長会）が開催され、11名の議員が参加しました。

当日は、独立行政法人経済産業研究所上席研究員の山下一仁氏〔演題：農業ビッグバンの経済学－グローバル化と人口減少時代の農政改革－〕と、白鷗大学法学部教授の福岡政行氏〔演題：政局展望〕のお二人からそれぞれ講演が行われ、全道各町村から多くの議員の皆さんのが参集しました。



(表紙)

○○○○○○○○○○に 関する
請願書
(陳情書)
紹介議員○○○○○ ○

※陳情には紹介議員は要りません。

(内容)

○○○○○○○○○○に 関する請願(陳情)
要旨 ○○○○○○○
理由 ○○○○○○○ ○○○○○○。
平成 年 月 日 大空町議會議長様 大空町○○○○○ ○○○○○ ○



【お問い合わせ先】

大空町議会事務局

TEL 74-2111(内線 265・266)

- 定例会及び臨時会の会議録は、両地区図書館で閲覧することができます。
- 議会ホームページからも会議録や議会だよりをダウンロードすることができます。
- 議会や議会だよりに関する御意見や御要望をお待ちしています。

委員会活動レポート

●総務文教厚生・産業建設の各常任委員会、議会運営委員会や議会広報編集特別委員会などは閉会中も開催され、所管する事案に関する案件の協議や活動等を行っています。※主な内容をお知らせします。



(津別町堆肥製造施設調査)



(東藻琴芝桜公園調査)

総務文教厚生常任委員会

(1) 第4回委員会(6/15)

- ① 定住自立圈構想
- ② 女満別中学校ボイラ一煙突のアスベスト

含有断熱材処理
含有断熱材処理

③ 要望意見書

(2) 所管事務調査(7/23)

● 総務文教厚生常任委員会が所管する課等の担当職員から説明を受け、調査しました。

① 豊住保育園0歳児保育状況現地調査

② 女満別小学校建設工事進捗状況現地調査

③ 東藻琴保育園0歳児保育状況現地調査

④ 東藻琴老人福祉センター利用料金改訂、運営時間延長後の施設利用状況現地調査

(1) 第4回委員会(6/15)

- ① 宮崎県口蹄疫発生に伴う対応

(2) 所管事務調査(8/4)

● 産業建設常任委員会が所管する課等の担当職員から説明を受け、調査しました。

① 東藻琴芝桜公園現地調査

② ひがしもこと乳酪館現地調査

③ 女満別小学校建設工事現地調査

④ 家畜伝染病防疫対策

議会運営委員会

設 現地調査

- ⑤ 生ごみの搬入状況等
(津別町堆肥製造施設現地調査)
- ⑥ 町道民税の課税
- ⑦ 東藻琴中学校生徒の事故発生

議会運営委員会

議会運営委員会委員長 植田泰弘

視察調査報告書

議会運営委員会は、8名にて7月7日から9日までの3日間、上川管内の和寒町議会、檜山管内の今金町議会及び北海道

町村議会議長会事務局を訪問し、視察研修してま

りました。その結果について報告いたします。

今回の研修テーマは、

議会基本条例の制定の事例研究と議会報告会の事例研究の2本に絞りました。

議会基本条例を制定し

た先進地の事例を直に拝

聴し、我が議会として、各委員と共に通の認識をもち、今後の取り組むべき方向性を決めるにあたり、各委員と共通の認識をもつて、議会としての基本姿勢を築く糧を得ることとした

しました。

和寒町は、人口約4,000人で旭川市と士別市の間にあり、農業を主

とした町で『全国玉入れ大会』など、ユニークな町あこしをしています。

和寒町議会においては、議員定数10人、2常任委員会で、議会基本条例は平成19年7月、議長より例会で議決され、【議会の運営原則】から始まり、議員の活動原則、【町民と議会との関係】、【町長等と議会及び議員の関係】、【議員の政治倫理】など17条からなる条例であります。作成にあたり、事務局は大変苦労されたようありました。

議会報告会においては、議会活動の報告を行い、陳情は受けないとのルールのもとに、議員個々の見解は述べずに座長がすべて答弁する方法を取つて、町民との対話を実施していました。問題点としては、参加人数が少な

く、また、参加者が固定されてるので、今後工夫が必要であるとのことでした。

議会基本条例は、平成

は12人で、3常任委員会があり、特徴は広報発行

が重複委員会によって構成されているところであります。

議会基本条例は、平成



(和寒町役場前)

議会運営委員会は、8名にて7月7日から9日までの3日間、上川管内の和寒町議会、檜山管内の今金町議会及び北海道町村議会議長会事務局を訪問し、視察研修してまいりました。その結果について報告いたします。

今回の研修テーマは、議会基本条例の制定の事例研究と議会報告会の事例研究の2本に絞りました。

議会基本条例を制定した先進地の事例を直に拝聴し、我が議会として、各委員と共に通の認識をもち、今後の取り組むべき方向性を決めるにあたり、各委員と共通の認識をもつて、議会としての基本姿勢を築く糧を得ることとした

和寒町は、人口約4,000人で旭川市と士別市の間にあり、農業を主とした町で『全国玉入れ大会』など、ユニークな町あこしをしています。

和寒町議会においては、議員定数10人、2常任委員会があり、特徴は広報発行

が重複委員会によって構成されているところであります。

議会基本条例は、平成

は12人で、3常任委員会があり、特徴は広報発行

が重複委員会によって構成されているところであります。

議会基本条例は、平成

19年、全国3番目に施行され、7章19条による条例例あります。福島県矢祭町へ行政視察を行い、その事を機会に講演者を招き、また、行政視察の報告会を町民に対して行い、議会に対する理解関心を高めた上で条例制定がありました。



(今金町議会視察の様子)

町民報告会は、町民会議、住民会議（農村地域）に対して行い、事前に議会としての考え方を統一し、議員全員が発言するとのことで、町民からの評価も良くなってきていました。その他に子供議会に対しての答弁を議員が行い、また、ナイター議会をする等、活発な議会との印象であります。

『北海道町村議会議長会』3番目の訪問先として、北海道町村議会議長会の勢旗事務局長より議会基本条例に関する情報提供とその必要性、制定に向けての基本姿勢の確認、議会報告会の意義とその果たす役割について研修を受けました。

全国の状況として、6月現在、97議会が議会基

本条例を制定しており、先進事例を学ぶ必要性は当然あるが、先進事例をコピーして貼付けただけの「真似議会基本条例」もあると指摘されている状況について説明をいただきました。

全国に先駆けて議会基本条例を制定した栗山町議会では、条例をより良いものとするため、見直し改善に向けた取組が既になされる段階にもなり、更に前進している状況であるとの説明もいただきました。

締めくくりとして、「住民のための開かれた議会づくりを目指し、議会全体として基本条例の必要性、目的について認識を高め、しっかりとした信念を持つて、次代につなげる取組姿勢が肝要である」との指摘がありました。

わりに、地方議会の運営に関して、常任委員会の活動のあり方、一般質問等議場における質問、質疑方法に関する基本事項の確認などについても助言をいただきました。

このようないくつかの規則が生まれたと想像できます。また、今金町議会では、一般的質問の内容について、『課に問い合わせて聞くことのできるものは行わない』を大原則とした質問内容で、各議員が論議していました。

議会基本条例を策定している議会の資質の高さを感じた視察でした。

このような規則が生まれたと想像できます。また、今金町議会では、一般的質問の内容について、『課に問い合わせて聞くことのできるものは行わない』を大原則とした質問内容で、各議員が論議していました。

このようないくつかの規則が生まれたと想像できます。また、今金町議会では、一般的質問の内容について、『課に問い合わせて聞くことのできるものは行わない』を大原則とした質問内容で、各議員が論議していました。



《あわりに》

議長宛の案内文書については、事前に公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」か「郵送」でお届けをお願いします。

送り先 099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議會議長（大空町議会事務局）宛

お願い

議会広報編集特別委員会委員長

松田 信行

今回の視察において、和寒町議会では議会傍聴規則の中で、【写真】デオ撮影及び録音等の自由】を謳っていました。このことは、今までの傍聴者のマナーが議会に対しての信頼関係を生み、

広報委員会活動として、7月6日に鷹栖町議会議会報特別委員会が広報編集活動等の視察のため来町され、意見交換がなされました。当委員会も議会広報のあり方、課題等を整理しながら、今後とも、より一層読みやすい編集を中心掛けていきたいと考えております。

編集後記

要 望 意 見 書

①ワクチン接種に関する要望意見書

我が国では毎年、1,000人以上の5歳未満児が細菌性髄膜炎に罹っています。

この細菌性髄膜炎は、乳幼児に重い後遺症を引き起こしたり、死亡に至る恐れが高い重篤な感染症で、その原因の75%がヒブ(H i b=ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型)と肺炎球菌によるものとされています。

細菌性髄膜炎の初期症状は、発熱・嘔吐・頭痛などですが、小児科医でも一般的な風邪と見分けにくく早期診断が困難とされ、迅速な治療が施されても、ヒブの場合で3~5%、肺炎球菌の場合で10~15%の患者が死亡し、また、生存された場合でも、10~20%に脳と神経に重大な損傷が生じ、水痘症、難聴、脳性麻痺などの後遺症を引き起こすと言われています。

細菌性髄膜炎は、乳幼児期のワクチン接種により効果的に予防することが可能とされています。世界保健機関(WHO)は、平成10年にヒブワクチンの無料接種化を勧告し、現在、欧米、アジア、アフリカなど133ヶ国でワクチンの定期予防接種が実施され、こうした国々では発症率が大幅に減少しています。

我が国においては、平成20年12月から、医療機関においてヒブワクチンの任意接種が可能となりまし

たが、4回のワクチン接種費用は3万円以上となるなど費用負担が大きく、長引く不況の中、若い世代の保護者にとっては、個人負担が重く、接種の大きな障害となっています。

また、子宮頸がんは、年間で約15,000人が発症し、3,500人が死亡していますが、他のがんと違い、その原因がヒトパピローマ・ウイルス(HPV)の感染であることが解明され、若年層へのワクチン接種が有効とされています。

我が国においては、昨年の12月から、医療機関においてワクチンの任意接種が可能となりましたが、この3回のワクチン接種費用も約5万円となるなど費用負担が大きく、長引く不況の中、若い女性や保護者にとっては、個人負担が重く、接種の大きな障害となっています。

現在、国内の一部の市町村において、これらワクチン接種費用の独自助成を行っていますが、子供たちや女性の命を守るために、道民がいつでも安心してワクチンが受けられるよう早急な対策が必要です。

よって、北海道においては、ワクチン接種に関する次の事項について、一日も早く実現されるよう強く要望します。

- 1 細菌性髄膜炎及び子宮頸がんを予防接種法の定期接種対象の一類疾病と位置づけるよう国に対し強く要望すること。
- 2 細菌性髄膜炎を予防接種法の定期接種対象の一類疾病として、国が承認するまでの間、ヒブワクチン及び7価肺炎球菌結合型ワクチンの接種費用を北海道が補助すること。
- 3 子宮頸がんを予防接種法の定期接種対象の一類疾病として、国が承認するまでの間、2価HPV様粒子ワクチンの接種費用を北海道が補助すること。

(提出先) 北海道知事 高橋はるみ

②石炭じん肺患者とトンネルじん肺患者の救済制度創設等を求める要望意見書

じん肺は、我が国の最も大きな職業病の一つです。じん肺法が制定された昭和35年から50年が経過した現在もなお毎年新たに800名前後の元労働者が療養に専念しなければならない最重症のじん肺に認定されている状況です。

かつて多くの炭鉱があった北海道においては、今なお毎年100名前後のじん肺要療養患者が発生しています。現在、札幌地方裁判所において、新・北海道じん肺第3陣訴訟が係争中であり、その患者数は375名に及んでいます。

平成16年4月の筑豊じん肺訴訟最高裁判決にお

いて、炭鉱じん肺被害の発生に関する国の責任が明確に示されました。また国は、平成19年6月に全国トンネルじん肺根絶訴訟原告団・弁護団との間で、「トンネル建設工事におけるじん肺防止対策に関する合意書」に調印し、粉じん障害防止規則の改正や積算基準の改正など、トンネルじん肺根絶のための対策を進めています。

よって、政府においては、じん肺に罹患した被害者に過大な負担を負わせる裁判手続きによる救済ではなく、全ての被害者を等しく早期に救済されるよう強く要望します。

- 1 国の責任において、炭鉱やトンネル建設工事でじん肺に罹患した全ての被害者を等しく早期に救済する制度を創設すること。
- 2 国の責任において、トンネル建設工事におけるじん肺被害を防止するための就労及び健康管理制度を早期に創設すること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 菅 直人
財務大臣 野田 佳彦 経済産業大臣 直嶋 正行 厚生労働大臣 長妻 昭
国土交通大臣 前原 誠司 農林水産大臣 山田 正彦

議会日誌

平成22年5月27日～8月21日

- 5月27日 NPO法人めまんべつ観光協会第6期通常総会
30日 平成22年度北海道消防協会網走地方支部
網走分会消防団連合演習
31日 平成22年度大空町手をつなぐ育成会定期総会
- 6月 3日 第61回北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
9日 第4回議会運営委員会
第4回議会広報編集特別委員会
10日 平成22年度網走支庁管内総合開発期成会
定期総会(網走市)
13日 阿寒国立公園「藻琴山」夏山開き安全祈願祭
15日～16日 平成22年第2回定例会
第4回総務文教厚生常任委員会
第4回産業建設常任委員会
16日 第5回議員協議会
第5回議会広報編集特別委員会
18日 オホーツク圏活性化期成会
農林水産専門委員会(網走市)
26日 平成22年東藻琴消防団消防演習
28日 第5回議会運営委員会
30日 大空町メルヘン観光交流センター
オープニングセレモニー
- 7月 1日 北海道町村議会議長会議員研修会(札幌市)
2日 第38回交通安全大会・第60回社会を
明るくする運動大会
3日 大空町東藻琴地区殉公者慰靈祭
4日 町民ビッグデー
6日 鷹栖町議会議会報特別委員会視察来町

- 7日～9日 議会運営委員会道内行政視察
(今金町、和寒町、札幌市)
23日 総務文教厚生常任委員会所管事務調査
28日～29日 オホーツク圏活性化期成会
夏季中央要望
31日 第38回めまんべつ観光夏まつり開会式
- 8月 3日 清水町議会産業厚生常任委員会視察来町
第6回議員協議会
4日 産業建設常任委員会所管事務調査
6日 ふれ愛スタディin大空町団員歓迎セレモニー
11日 第6回議会広報編集特別委員会
15日 大空町女満別地区戦没者追悼平和祈念祭
18日 稲城市議会会派「公明党」視察来町
第7回議会広報編集特別委員会
20日 北海道町村議会議長会議会広報編集者会議
(札幌市)
21日 国土交通省北海道開発局の廃止反対を
訴える緊急総決起大会

中華レストラン「吉」

大空町女満別西1条4丁目 TEL(0152)74-4789

コース料理

- 日替りランチ(ドリンク付) 950円
- ディナーセット(食前酒・デザート付) 1,600円
- ファミリーコース(料理6品)....お1人様 2,500円
(2名様より)
- ミニコース(料理6品)....お1人様 3,000円
(2名様より)
- お弁当 要予約
- オードブル 要予約
5～6名様用



*季節により多少内容が変わることもありますので
お気軽にお問い合わせ下さい。

営業時間 11:30～13:30 / 18:00～21:00

定休日 毎週月曜日

ご宴会、ご会合、パーティー等の
ご予約承ります。

*当店は全て消費税込みの価格です。



議会の傍聴はお気軽に!

◆定例町議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて隨時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においてください。
◆詳しくは、議会事務局へお問合せください。

●9月定例会は9月16日から
開かれる予定です。